

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
高村学人			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
森 隆知		立命館大学 政策科学部 政策科学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
地域環境調査	RMKd-100801-2	45人	

## I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

調査設計に先立つ現地フィールドワーク、統計GISを用いた地域分析、先行研究の吟味に基づく仮説の構築、調査票の作成、調査票データの入力、SPSSによる分析、分析レポートの作成を学生は行い、一連の調査過程で必要なことを身につけた。

## II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

大規模マンション住民の地域ネットワークとコミュニティ意識に関する社会調査

2. 調査の内容／概要：

滋賀県草津市の草津駅から徒歩圏内の大規模マンション住民に対する悉皆調査

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

対象となる世帯への全数調査。郵送による配布・回収とマンション内に回収箱を設置する方法を併用。

4. 主な調査項目：

地域ネットワーク数、公園の利用頻度、生活満足度、マンション購入時の考慮事項、町内会や管理組合への考え方や参加実態

## III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

現地踏査による周辺環境の分析、草津市統計書の分析、アンケート調査のデータ分析

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2010年10月～12月に実施。調査値は滋賀県草津市のマンションとその周辺環境。全学生が周辺環境をフィールドワークし、講義の中で発表した。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

980世帯に調査票を配布。回収率は、47.8%

## IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

クロス集計、相関係数分析、平均値の比較、T検定、F検定、重回帰分析

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

一般的にマンション内の親睦活動の存在が管理組合活動の作動条件と考えられてきたが、調査結果からは、親睦活動への参加者と管理組合活動への参加希望者は、異なるクラスターに属することが判明した。調査の成果から、親睦を前提としない集合住宅自治を構想する知見を提供できる。

10. 報告書刊行の予定と概要：

添付するものを立命館大学政策科学部のディスカッションペーパーとして近日刊行する予定。